大阪府土地改良事業団連合会　泉北支部研修視察

泉北支部研修視察

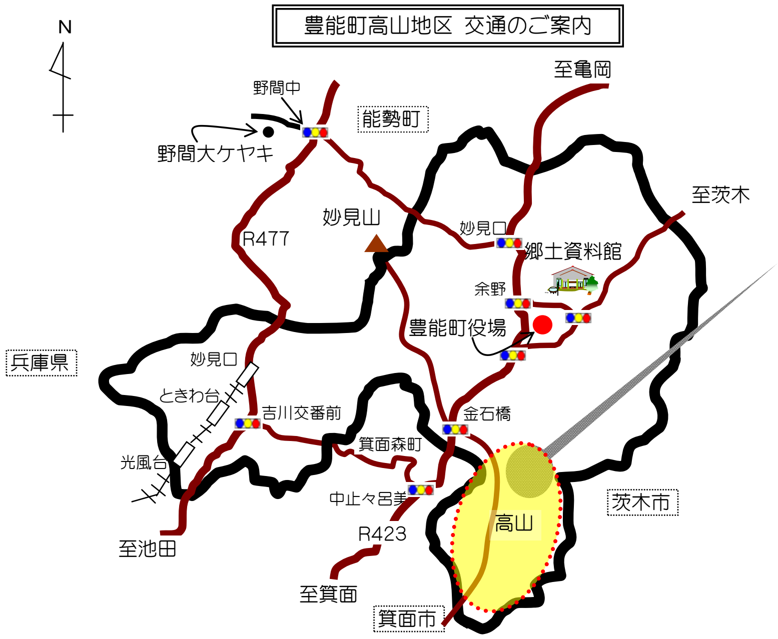
・実施日　11月26日（金）　午後1時30分～2時30分
・視察場所　高山遊休地（棚田）
・内容　豊能町の農耕地（300ha）、その14haが遊休地となってきている。高山地区においては5haほどがすでに遊休地となっている。少子高齢化が進む社会（地域）、人手不足などにより耕作放棄に至っている。
この遊休地を再生、維持保全を地域のボランティアと地区住民とが一緒になって遊休地・里山（棚田）の景観を守ることを目的とした活動が、昨年、農のふるさと協力隊として発足した。農のふるさと協力隊隊長（田中）からは隊の発足からの経緯、今後の活動のありように渡って丁寧に説明する。合せてこれまでの活動の奮闘記（資料）をお渡しする。

棚田がゲストを迎え

棚田がゲストを迎えた。「活動一年にして…よくここまで管理ができましたね！」お褒めの言葉を戴いた。

棚田がゲストを迎える

「農のふるさと協力隊」は野菜を作るのが主目的ではありません。あくまでも棚田の景観保全を守ることが活動の主目的であり、野菜はそのご褒美程度として作付けしています。協力隊には強制はない。「草と土と人と」の触れ合いを楽しむ場所、疲れたら休む。常にほどよい距離感を保つことが長く続ける秘訣かも！知れませんね。等々、つたない説明をする。視察一行は次の研修地（能勢町）へ、午後2:30出発されました。



棚田の草刈り風景（9月）
（見学・体験大歓迎！）
「見上げる空に垣根無し」どなたでも参加できますよ…。